

アンケート調査及び現地調査の結果を踏まえ、今後、知的財産管理体制を新たに整備またはその拡充を図ろうとする大学において活用可能なモデル（知的財産管理体制の現状確認、知的財産管理部門の設置、関係規程類の整備、必要な予算措置、人材育成、及び実施計画、スケジュール等）を大学知的財産アドバイザー派遣事業の総括の結果も踏まえつつ策定し、理解・利用しやすい内容にハンドブックとして取りまとめた。

なお、特許庁及び（独）工業所有権情報・研修館では、知的財産管理体制を新たに構築またはその拡充を図ろうとする大学向けの「大学における知的財産管理体制構築マニュアル」を2003年度以降作成してきており、これらの情報も参考とした。

（3）大学における知的財産に関する今後の支援の在り方についての検討

大学知的財産アドバイザー派遣事業の総括の結果を踏まえ、大学における知的財産に関する今後の課題を分析・検討し、それらに対応する上で必要な支援について提案した。

（4）委員会の設置・運営

本事業を円滑に遂行するために、大学運営、知的財産管理等に知見を有する者から成る委員会を設置し、調査内容、結果分析等についての検討、意見聴取を行った。委員会の構成は委員長を含め7名、事業実施期間中に3回開催した。（委員会委員名簿及び開催概要を、参考資料1に示す）

3．事業実施スケジュール

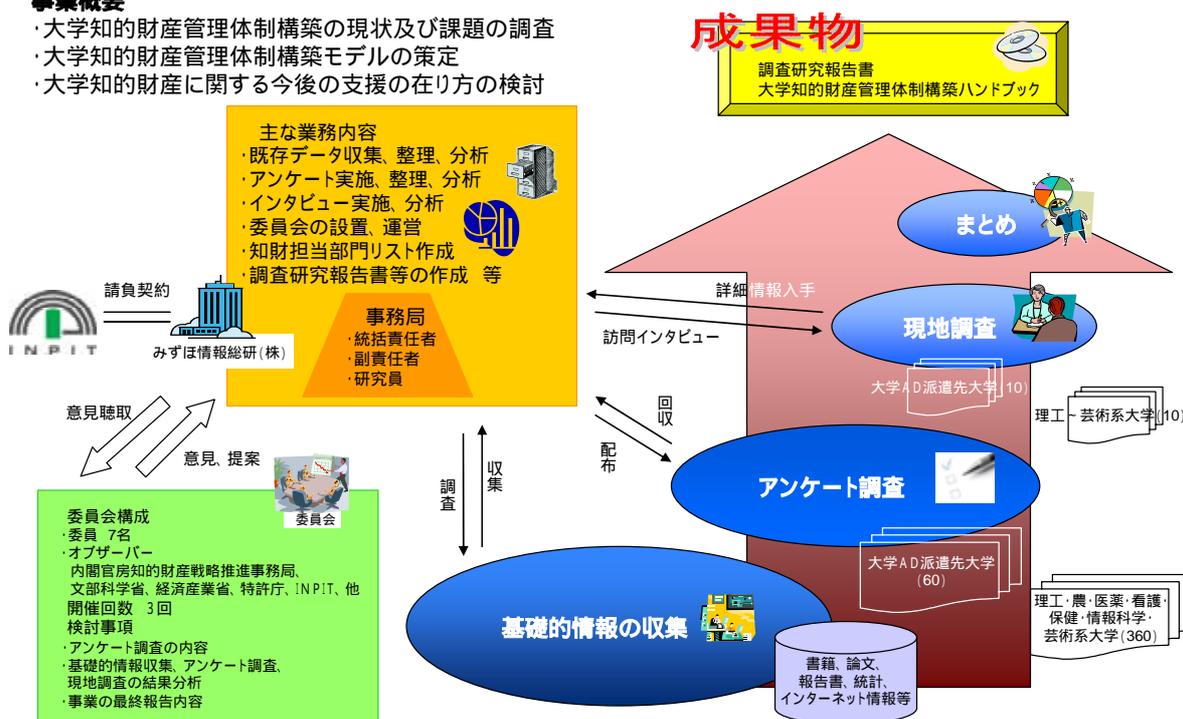
本事業は、平成22年10月12日～平成23年3月24日の期間で実施した。

図表 序 - 3 本調査研究の概要

「大学の知的財産管理体制構築及び運営管理に関する調査研究」事業の概要

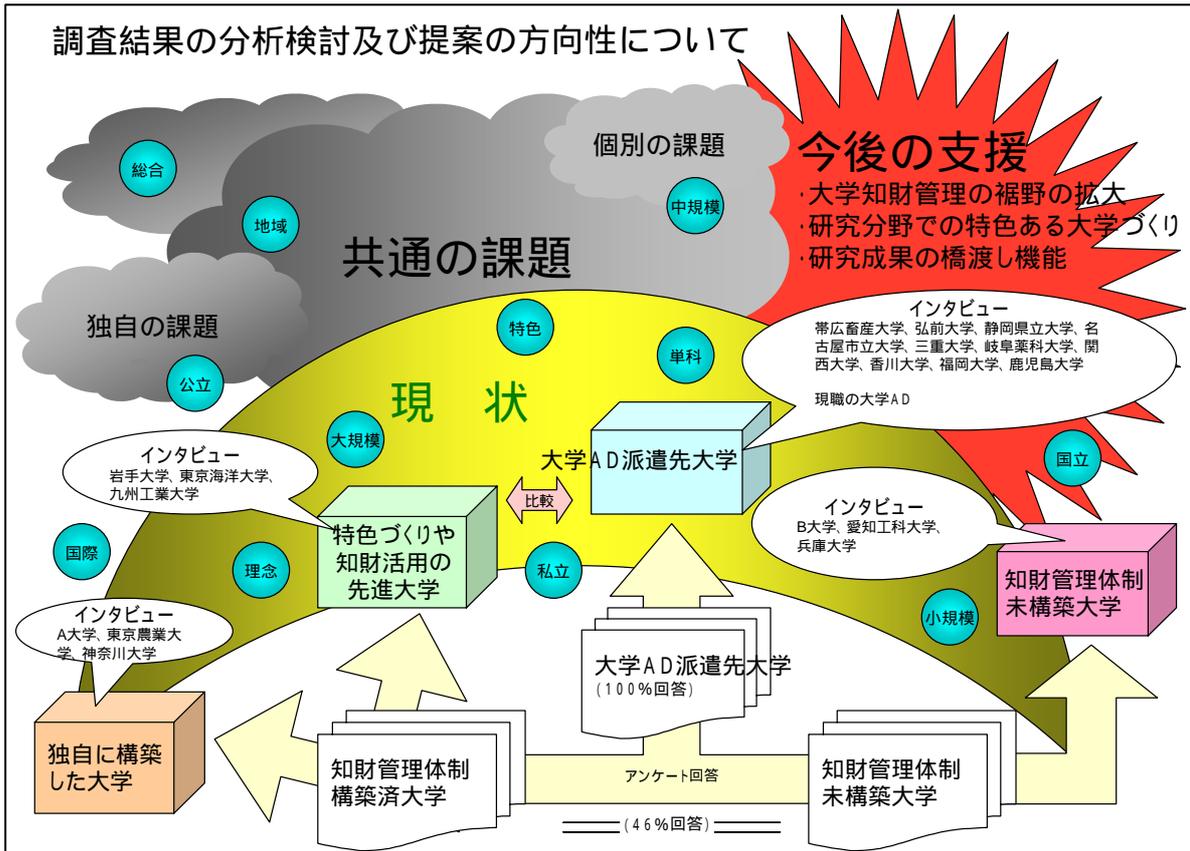
事業概要

- ・大学知的財産管理体制構築の現状及び課題の調査
- ・大学知的財産管理体制構築モデルの策定
- ・大学知的財産に関する今後の支援の在り方の検討



（資料）（独）工業所有権情報・研修館作成資料。

図表 序 - 4 調査結果の分析検討及び提案の方向性



(資料)(独)工業所有権情報・研修館作成資料。